

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	岐 阜 県
-------	-------

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	羽島市立中央中学校			フロンティアチャ-	小出直弘	
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4	1	12	25
生徒数	121	130	135	3	389	

研究の概要

1. 研究主題

「ともに学び 自立をめざす生徒」を育む教育課程の工夫 ~ 「確かな学力」をつける学習指導法を求めて ~
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

	教科	学級	時間数	実 施 理 由
1 年 生	数学	全学級	全時間	生徒の理解、習熟の状況に差が出やすい教科であるため
	理科	全学級	全時間	思考力や技能において一人一人に確実な定着を図るため
	英語	全学級	全時間	生徒の理解、技能に差が出やすい教科であるため
2 年 生	数学	全学級	全学級	生徒の理解、習熟の状況に差が出やすい教科であるため
	国語	全学級 TT	1/2 時 間	単元によって課題別、方法別学習集団の編成が有効であるため
	理科	全学級 TT	全時間	思考力や技能において一人一人に確実な定着を図るため

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>テーマ 「ともに学び 自立をめざす生徒」を育む教育課程の工夫 ～「確かな学力」をつける学習指導法を求めて～</p> <p>研究の見通し 個に応じた指導のための教材の開発、個に応じた指導のための指導体制 ・指導方法の工夫、生徒の授業評価を生かした指導の改善を行うことで一人一人に確かな学力がつくと仮説を立て、実践を通して究明する。</p> <p>研究の内容・方法 個に応じた指導のための教材の開発</p> <p>ア) 個に応じた指導をより有効にする題材、単元の開発 個に応じた指導のための指導体制、指導方法の工夫</p> <p>ア) 習熟度別、課題別、願い別、方法別等による少人数学習集団の編成 イ) 個に応じた指導のためのコース別学習の指導過程の工夫</p> <p>授業評価を生かした指導の改善</p> <p>ア) 生徒による授業評価を生かした授業改善 イ) 単元、単位時間の評価カードの利用(自己評価、教師の評価)</p> <ul style="list-style-type: none">・個に応じた指導として、生徒一人一人の実態をとらえ、意図的・計画的な指導を継続する。・個に応じた指導が効果的になるよう、学習集団の編成や学習形態、学習活動を工夫する。・意識調査や自己評価、学力の調査を実施し、実態や意識をとらえ、指導体制や指導方法の改善に生かす。
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 「ともに学び 自立をめざす生徒」を育む教育課程の工夫 ～「確かな学力」をつける学習指導法を求めて～</p> <p>研究の見通し 個に応じた指導のための教材の開発、個に応じた指導のための指導体制 ・指導方法の工夫、生徒の授業評価を生かした指導の改善を行うことで一人一人に確かな学力がつくと仮説を立て、実践を通して究明する。</p> <p>研究の内容・方法 個に応じた指導のための教材の開発</p> <p>ア) 教材の本質に沿い、付けたい力、ねらいの明確化を図り、評価規準、 個に応じた指導を具体的に示した指導計画の作成と改善</p> <p>イ) 個に応じた指導をより有効にする題材、単元の開発 個に応じた指導のための指導体制、指導方法の工夫</p> <p>ア) 習熟度別、課題別、願い別、方法別等による少人数学習集団の編成 イ) 個に応じた指導のためのコース別学習の指導過程の工夫 ウ) 個に応じた指導のための学習形態、学習活動の工夫 エ) 単位時間における個に応じた指導の手だての明確化</p> <p>授業評価を生かした指導の改善</p> <p>ア) 生徒による授業評価を生かした授業改善 イ) 単元、単位時間の評価カードの利用(自己評価、教師の評価) ウ) 単元テストや小テストなどによる実態把握と実態の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・個に応じた指導として、生徒一人一人の実態をとらえ、意図的・計画的な指導を継続する。・個に応じた指導が効果的になるよう、指導過程や学習集団の編成や学習形態、学習活動を工夫する。・意識調査や自己評価、学力の調査を実施し、実態や意識をとらえ、指導体制や指導方法の改善に生かす。
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>個に応じた指導のための教材の開発 指導内容を焦点化して指導することができるようになり、生徒一人一人の変容が実感できるようになった。(学習が前より理解できるようになったか？はい - 1年生91%，2年生75%) 生徒の実態に基づいて題材が設定でき、生徒の課題に対する意識が単元を通し持続できていると感じるようになった。(前よりも集中して学習に取り組んでいるか？はい - 1年生85%，2年生79%)</p> <p>個に応じた指導のための指導体制・指導方法の工夫 生徒一人一人の学習を十分に見届けることができるようになった。実態把握が少人数編成になったことでしやすくなり、授業の中のつまずきも予想しやすくなった。 授業の中で一人一人が活躍できる場が増え、多くの生徒が自信と意欲をもって学習に臨むことができるようになった。(意見は言いやすくなりましたか？はい - 1年生74%，2年生75%)</p> <p>授業評価を生かした指導の改善 授業評価をふまえて指導を改善していくことができ、より生徒の思いや考えによりそった授業展開ができるようになった。(学習の楽しさが前よりも増したか？はい - 1年生80%，2年生52%)</p>
--

2. 今後の課題

<p>個に応じた指導のための教材の開発 一年間を見通した中で、他教材との関わりが弱く、題材の位置付けが弱くなることがあった。開発題材を位置付けた年間の指導計画が必要である。コース別の個に応じた指導計画の作成と見直し</p> <p>個に応じた指導のための指導体制・指導方法の工夫 きっちりコース，もりもりコースの特性をまだ生かしきれていない。指導過程に明確な違いを出しきれていない。コース別の個に応じた指導過程の具体化と題材の開発</p> <p>授業評価を生かした指導の改善 生徒の学力調査を実施し，確かな学力の具現を検証できるようにしていかなければならない。学力の調査の実施と活用方法の具体化</p>
--

学力把握のための学校としての取組

<p>1 学力の調査 目的 ・個の理解度，習熟度の状況を明らかにし，指導，評価に生かす。 ・生徒が個々の学習状況を知り，今後の学習の指標とする。 実施時期 5月初旬 実施内容 全学年（国語・社会・数学・理科・英語）</p>

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

<p>1 フロンティア事業岐阜地区公表会・協議会 日時 平成16年 1月16日 目的 本校におけるフロンティア事業に対する取り組み（研究，実践，成果と課題）を公表する。 提案資料 研究紀要，指導案集</p> <p>2 ホームページの作成 http://www.hashima-gifu.ed.jp/~chuouj/ ホームページ内にてフロンティア事業についてのねらいと実施状況，保護者の方のご意見等を紹介する。公表会や授業参観の日程を連絡する。</p>

~~~~~

|                      |                                           |                                             |                                        |                                           |
|----------------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------|
| 【新規校・継続校】            | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校       | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校         |                                        |                                           |
| 【学校規模】               | <input checked="" type="checkbox"/> 3学級以下 | <input type="checkbox"/> 4～6学級              |                                        |                                           |
|                      | <input type="checkbox"/> 7～9学級            | <input checked="" type="checkbox"/> 10～12学級 |                                        |                                           |
|                      | <input type="checkbox"/> 13～15学級          | <input type="checkbox"/> 16学級以上             |                                        |                                           |
| 【指導体制】               | <input type="checkbox"/> 少人数指導            | <input type="checkbox"/> T・Tによる指導           |                                        |                                           |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> その他   |                                             |                                        |                                           |
| 【研究教科】               | <input type="checkbox"/> 国語               | <input type="checkbox"/> 社会                 | <input type="checkbox"/> 数学            | <input type="checkbox"/> 理科               |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語   | <input checked="" type="checkbox"/> 音楽      | <input checked="" type="checkbox"/> 美術 | <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> 保健体育  | <input type="checkbox"/> その他                |                                        |                                           |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有     | <input type="checkbox"/> 無                  |                                        |                                           |